

令和二年・三年度は、新型コロナウイルスに翻弄され、支部活動につきましては、役員のみにより開催された支部総会を除き、自粛せざるを得ない状況でし
た。会員各位につきましても何かと不自由な生活を強いら
れてはいるのではないかと抨察申してい
ます。本年度は、新型コロナウイルスが収束する
ことを期待し、以前のような
支部活動に少しずつ戻してい
きたいと考えております。
三島中洲先生が関係する記
念碑について管見に入つたも
のを次に掲げます。

『三郷村の碑文』（三郷村
教育委員会・昭和六十三年）
に、明治十七年に建立とさ
れる務台（むたい）伴語筆塚
（務台翁寿蔵碑・所在地現
在・安曇野市三郷温へゆ
く）野沢向街道）が紹介さ
ており、その碑表の撰文は從
五位三島毅、中根聞書並びに



三島中洲先生と記念碑について

支部長
清水登（文42回）

隸額とあります。撰文の内容は、翁（文化十一年）明治二十年の経歴を紹介し、その業績を顕彰したもの。同書によると、寿蔵碑は生きているうちに建てておく碑のこと。翁名は景貞（かげさだ）、伴語と称し、俳句に堪能で、若い時から家塾をひらき、門弟は近郷及び豊科、松本その他各地から多く集まり、地方文化の先駆的役割を担つた。温知学館と称したとあります。

『小諸小学校職員研究会郷土史員代表碑』（小諸小学校三十六年建立（中山翁門生一））によると、翁（行五）とされる中山貞邦碑（行五）も、翁の行庚



長野県支部会員の皆さん、お元気でいらっしゃいますでしょうか。かつて支部総会や文学散歩にお邪魔し、長野県内の各拠点を廻ったことが懐かしく思い出されます。宿のテレビでの県内の天気予報地点が6ヶ所もあり、その広さに驚きました。そして、それぞれの地域に歴史と文化があり、藩校が多いことも知り、その懐の広さを学んだことが忘れません。新型コロナウイルスの蔓延で、世界は大きく変わりました。3年前には今日の社会は予想もできませんでした。様々な事業が自粛を余儀なくされ、景色が変わってしまいました。しかし、ようやく先が見える状態になりつつあるようです。

松菴会の活動も、この3年は停滞気味でした。定期総会は一昨年、昨年と議決権での総会となり、本年度は出席と



コロナ禍と松琴会活動

二松學舍松苓會 會長
廣田克己（文38回）

議決権が半々といふものでし
和感と淋しさを禁じ得ません。
ん。本部からの支部派遣は、違
この2年は1件もなく、支部
とのつながりも弱くなつたの
ではないかと心配です。
ではないかと心配です。
支部活動もこの2年間は、
総会、文学散歩などの事業の
ほほんどが中止を余儀なくさ
れ、かろうじて支部会報の發
行で活動を継続しているとい
う状況でした。支部役員の皆
様のご苦労は大変なもので
あつたろうと思います。この
ブランクを埋めるには、大き
な情熱とエネルギーが必要で
す。そんな中で唯一、長野県
支部だけが支部総会を実施し
てきただことに、心意気と情熱
を感じ、元気づけられておりま
す。おかげさまで、今年は
各支部の活動にも意気込みが
感じられます。
まだまだ感染対策は取りな
がらですが、母校も対面授業

那郷土研究会・昭和六十一
年」とあり、「伊沢修二・そ
の生涯と業績」(高遠町図
書館・昭和六十二年)における
記念碑建立の記述は、この
ような郷土史に関する調査結果
を踏まえたものと思われます。
詳細な調査を実施すれば、
たくさんの方々が集まるよう
な予感がいたします。三島先

生と地域の文化との深い関わりが見えてくるのではないかと思われます。最後に、会員各位のご多幸を祈念するとともに、支部活動に対する更なるご理解・ご協力をお願い申し上げます。

二松学舎大学
松　竹　会
長野県支部報

令和4年7月8日
二松學舍大學會
松 蒼 長 野 県 支 部 登
發行人 清水 印刷 (有)徳嵩印刷
(題字 西村満州夫)

二松卒業後常勤講師として岡谷東、教諭として坂城、上田染谷丘、中高交流で臼田中、野沢南、屋代、教頭として飯田工業定期制と飯山北、校長として蘇南、高校教育課指導主事、松本県ヶ丘は県下初の再任用校長として4年間勤めました。教員歴は39年間でした。

今年3月をもつて無事定年退職を迎えることができ、ほっとしていると同時にこれから自分の自分づくりに悪戦苦闘しております。



「事成し終えん」

杉村修

育実践をさせていただきました。この実践経験と生き様を見せてくれる先生との出会いが自分を支えてくれたといつても過言ではありません。屋代では中高一貫、飯田工業定期制、飯山北は統合を経験させていただきました。どのようにしたら両校職員が溶け込んで統合ができるかを学び実践できました。

高校教育課では人事を担当し、加えて勤務時間調査を確立できました。そして松本県ヶ丘では探究科の設置1年から4年間、試行錯誤しつつ、新たな探求学習スタイルを確立できましたことは、非常に大変でしたが、事成し終えることができたと思つております。偏に二松學舎での学びとO.B.O.Gの先生方のおかげと感謝しております。

最後になりますが、本稿をお借りして二松學舎大学のまますますの発展を心より祈念申上げます。

を開始し、徐々にキヤンパスも暇ないを取り戻していくます。学生たちは入学以来2年目、3年目で初顔合わせ、などという状況に戸惑つていいだろうと思いませんが、楽しげな様子を見せています。やは

りこうでなくては、と思いながらエレベーターに並ぶ学生たちの混雑を見て、松菴会室に通つているこの頃です。最後になりましたが、長野県支部のますますの発展と皆さまのご健勝を祈ります。



教育実習を終えて

一松學舍大學文學部國文学科四年
太田 さや香

した。
緊張しやすい性格ゆえ、授業ごとに作成する指導案はきつちりしつかり、授業中には慌てることのないよう作つたのですが、実際に授業を行つてみると思うようにいかないことがほとんどでした。一番はじめに行つた授業では途中でパニックになつてしまい、冷や汗が止まらなくなりました。その場はなんとか凌ぎたものの、うまく授業が進まなかつたことに落ち込んでしまったことに、指導教諭の先生がいる、「そういいう時は焦らずに、『ごめん、先生少しパニックになつちゃった』」つて素直に言つていいんだよ。はじめから何にもミスしないで授業するなんてできないんだから、焦つたり落ち込んだりする必要はない」と声をかけてくださいました。そこではじめて自分が失敗を恐れて必要以上に気を張つていたことに気づきました。そんなに神経を尖らせる必要はないのだと、少し肩の

長いようで短かった、あつ
という間の二週間でした。実習
が始まる前は緊張と不安で
ドキドキしていましたが、い
ざ始まつてみると、そんなこ
とは頭から吹き飛ぶくらい毎
日が忙しく充実していて、不
安を感じる暇もありません

生徒の雰囲気を読み取れるようになると、授業後の反省で「もつとこうすれば良かって」「こう説明したら理解してくれるんじゃないかな」という風に考へるようになります。それ以前は「生徒」といつてもそこにひとりひとりの「生徒」がいるという感じではなく、「生徒」という名の集合体のようなものをイメージしていよいよです。そのため授業の内容についてもなんとなく漠然としたものになつてしまっていたのですが、対象である「生徒」がもつと具体的になり、それぞれの人物として目の前に立ち上がってきたことで、指導案を作成する際にあまり悩まなくなりました。そして徐々に、こういう所に引っかかりうるなど考へるようになります。生徒の興味を途切れさせず授業を進めていくにはどういったかを中心に考へ

るようになりました。授業中もただ指導案のとおりに進められるのではなく、その時々で捕獲を入れたり雑学を入れたりと、臨機応変に対応することを心がけました。不思議ですが、生徒の気持ちがこちらを向いてくれると何故か分かるものです。生徒が少しだけでも授業に前向きになってくれたと感じる度、本当に嬉しく、頑張った甲斐があつたと感じました。教師という仕事のやりがいを、少しですが感じることができます。
教育実習を通じて、改めて教師という仕事をについて学ぶことができました。未だに進路に悩んでいるので、この実習は本当に良い機会だったなと思います。教職への憧れが強まつた二週間でした。実習で学んだことを、残りの学生生活と今後に活かしていきたいと思います。



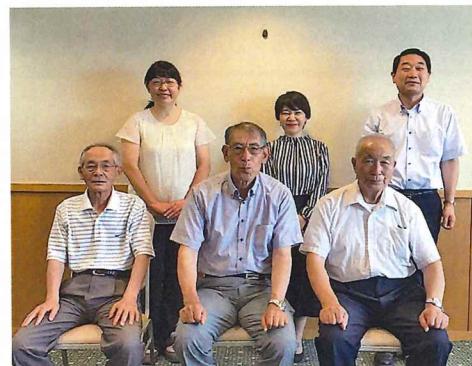
研究授業のようす（長野日大高校）

まういえ銀紙
せちたに行くで恐
んよだはのご縮
銀き一決送です
行ま一定金す
のす〇事いが
口よ円項た
座うのにだ年
間に手よけ会
のお数りれ費
振願料、ば二、
りいが本幸
替申必年甚に
えし要度に存
えには上昇に
上げなり窓ます
手数ます。す
がな。のゆ
かおご振う振
か、了りち替
りゆ承替よ用

支部会費納入についてお願ひ



参加の有無を同
封の返信はがきに
て七月二十日(木)ま
でに投函して
だきたくお願
いいたし
ます。



令和2年度 支部総会出席者

本年度の長野県支部総会につきましては、新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、大学・松菴会からの来賓をお呼びせず、例年行つておりました大学教員による講演会や懇親会も行いません。昨年との変更点として、長野県の会員の皆様にはご参加いただけます。

日 時：七月二十二日(土) 午後一時三十分より

会 場：ホテル信濃路
長野市中御所岡田町一三一四
電話 026-226-5212

令和3年度 長野県支部総会について

令和3年度 活動報告

(令和3年5月～令和4年4月)

期 日	活 動 内 容	備 考	期 日	活 動 内 容	備 考
7月8日(木)	支部報発行・会員送付		7月24日(土)	支部総会(ホテル信濃路)	役員のみ

令和4年度 活動計画(案)

期 日	活 動 内 容	備 考	期 日	活 動 内 容	備 考
7月上旬	支部報発行・会員送付		9月18日(日)	文学散歩	松本方面
7月23日(土)	支部総会(ホテル信濃路)				

令和3年度 会計報告

(令和3年5月～令和4年4月)

収 入		支 出	
前 年 度 繰 越 金	342,430	支 部 報 等 印 刷 費	112,783
支 部 会 費	51,851	支 部 総 会・支 部 報 通 信 費	50,475
支 部 運 営 助 成 金(本会より)	80,000	支 部 総 会 費	12,270
支 部 報 発 行 助 成 金(本会より)	30,000	総 会 時 お 土 産	2,915
支 部 総 会 開 催 助 成 金(本会より)	20,000	寄 付 金	50,000
雜 収 入	1	繰 越 金(次年度へ)	295,839
計	524,282	計	524,282

令和4年度 予算(案)

収 入		支 出	
前 年 度 繰 越 金	295,839	支 部 報 等 印 刷 費	120,000
支 部 会 費	50,000	支 部 総 会・支 部 報 通 信 費	40,000
支 部 運 営 助 成 金(本会より)	80,000	支 部 総 会 費	20,000
支 部 報 発 行 助 成 金(本会より)	30,000	予 備 費	295,393
支 部 総 会 懇 親 会 費(本会より)	20,000		
雜 収 入	100		
計	475,939	計	475,393

令和4年度文学散歩〈松本地方〉のご案内

- 集合日時：令和4年9月18日(日) 10時30分
 - 集合場所：JR松本駅（アルプス口）
 - コース：JR松本駅 → 白井吉見記念館 → 昼食
→ 浮世絵博物館・司法博物館・宝来屋（または窪田空穂短歌館）→ JR松本駅

※移動は参加者の車を利用いたします。参加をご希望される方は、お電話で下記までご連絡ください。

問い合わせ先：江村 春彦 携帯電話 090-9959-9593

● 令和3年度 長野県出身卒業生数

- ・文学部国文学科 7名
 - ・文学部中国文学科 3名
 - ・国際政治学部国際政治経済学科 2名
 - ・国際政治学部国際経営学科 1名

●令和4年度 二松學舎大学入学試験結果

		試験種別	募集定員	志願者	受験者	合格者	倍率
指定校・提携校・附属校推薦		170	225	225	225	1.00	
総合型選抜	総合型選抜Ⅰ期(文章読解型)	55	167	167	81	2.06	
	総合型選抜Ⅱ期(課題図書型)	40	91	90	40	2.25	
	書道実技型(前期)	6	10	10	7	1.43	
	書道実技型(後期)	4	5	5	4	1.25	
一般選抜	S方式	30	152	147	42	3.50	
	A方式	30	473	455	120	3.79	
	B方式	30	258	245	63	3.89	
	G方式	30	283	269	63	4.27	
	C方式(前期)	25	426	426	112	3.80	
	C方式(後期)	10	46	46	23	2.00	
	D方式	10	198	169	84	2.01	
社会人		若干名	0	0	0	—	
外国人留学生		若干名	7	6	5	1.20	
海外教育経験者		若干名	2	2	1	2.00	
合計		440	2,343	2,262	870	—	
試験種別		募集定員	志願者	受験者	合格者	倍率	
国際政治経済学部	指定校・提携校・附属校推薦	75	116	116	115	1.01	
	商業・情報系高等学校推薦	5	0	0	0	—	
総合型	総合型選抜Ⅰ期(読解力総合型)	15	46	46	43	1.07	
	総合型選抜Ⅰ期(英語資格型)	5	5	5	5	1.00	
	総合型選抜Ⅱ期(自己アピール型)	10	23	22	20	1.10	
一般選抜	S方式	30	92	88	40	2.20	
	A方式	20	206	195	94	2.07	
	B方式	30	142	131	58	2.26	
	C方式(前期)	20	203	203	79	2.57	
	C方式(後期)	10	38	38	25	1.52	
	D方式	10	78	55	45	1.22	
社会人		若干名	0	0	0	—	
外国人留学生(秋季)		10	14	14	8	1.75	
外国人留学生(春季)			20	16	14	1.14	
海外教育経験者		若干名	0	0	0	—	
合計		240	983	929	546	—	
総計		680	3,326	3,191	1,416	—	

●令和3年度 卒業生業種別就職一覧

	文 学 部	国際政治経済学部
農・林・漁・鉱業	0.0%	0.0%
建設	3.4%	6.0%
製造(印刷含む)	7.7%	6.5%
電気・ガス・熱供給・水道	0.0%	0.0%
情報通信(出版含む)	7.7%	16.0%
運輸	1.1%	4.0%
卸売	3.1%	9.5%
小売	18.8%	19.0%
金融・保険	4.3%	5.5%
不動産・リース	3.7%	6.5%
専門サービス(広告含む)	3.4%	2.0%
宿泊・飲食	2.8%	2.0%
生活サービス・娯楽	4.5%	2.0%
その他サービス・宗教	10.5%	12.5%
学校	13.1%	0.5%
その他教育支援	2.0%	1.0%
医療・福祉	6.8%	3.0%
複合サービス	1.4%	1.0%
公務	5.7%	3.0%
合計	100%	100%

●令和4年度 都道府県別志願者・入学者数（抜粋）

所在 地		文 学 部		国際政治経済学部		合 計	
		志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者
関 東	茨 城 県	118	30	41	14	159	44
	栃 木 県	60	12	6	1	66	13
	群 馬 県	35	1	16	2	51	3
	埼 玉 県	339	63	107	24	446	87
東	千 葉 県	454	159	236	75	690	234
	東 京 都	725	152	316	77	1,041	229
	神 奈 川 県	279	44	77	21	356	65
小 計		2,010	461	799	214	2,809	675
北 陸	新 潟 県	25	6	9	1	34	7
	富 山 県	3	0	3	0	6	0
	石 川 県	1	1	5	0	6	1
	福 井 県	0	0	1	1	1	1
小 計		29	7	18	2	47	9
中 部	山 梨 県	23	3	11	0	34	3
	長 野 県	41	5	20	1	61	6
	岐 阜 県	7	1	1	1	8	2
	静 岡 県	35	6	7	4	42	10
愛 知 県		16	2	1	1	17	3
小 計		122	17	40	7	162	24
合 計		2,161	485	857	223	3,018	708

ここに支部報第三十三号をお届けするにあたり、執筆や資料提供の依頼を快くご承諾いたしました。二松学舎松英会長の廣田克己先生はじめとする関係の皆様に厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症による影響はまだまだ継続しておりますが、少しでも会員の皆様とお会いする機会を設けようと考え、支部総会に一般会員の方にご参加いただけたり、文学散歩の開催を計画いたしました。ぜひご参加をお願いいたします。そして、支部報を例年通り発行することで、松英会本部や大学と支部、会員相互の橋渡しをしてまいりたいと考えております。皆さまのご理解、ご協力をお願いいたします。